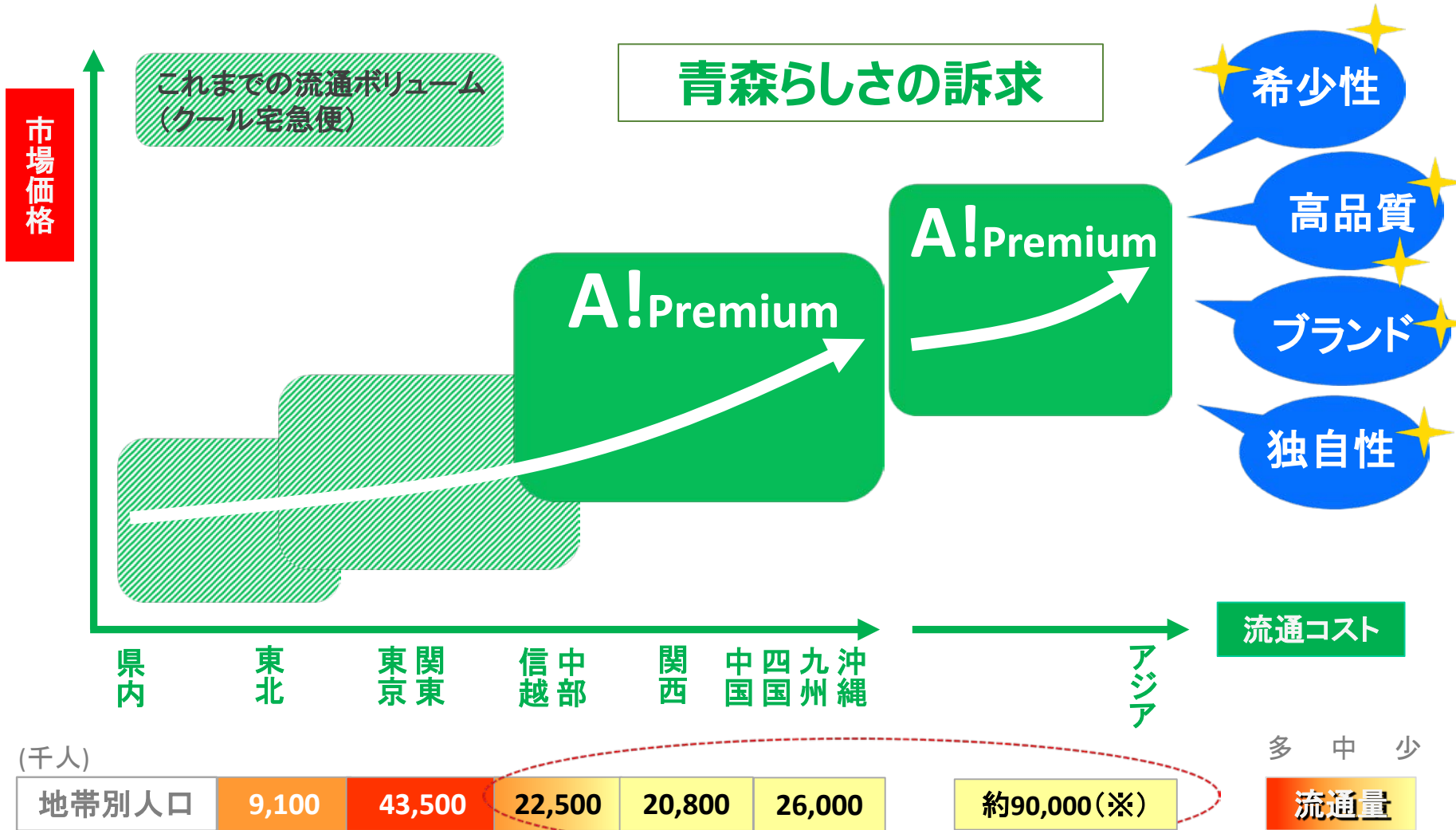


# 青森県総合流通プラットフォーム A!Premium

## 平成28年度の実績



# 1. 「A! Premium」のコンセプト



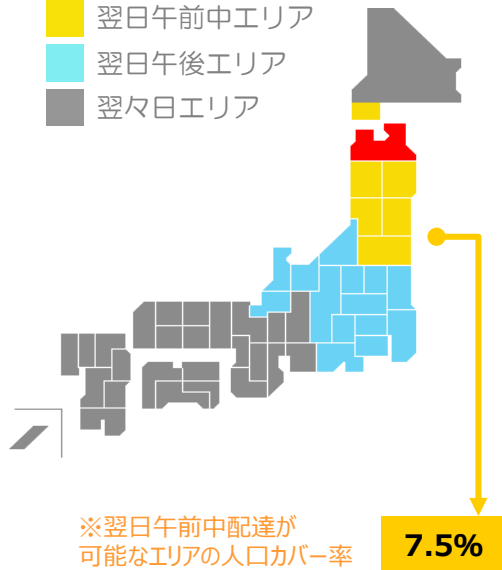
※ ヤマト運輸のサービス提供国(香港、台湾、上海、シンガポール、マレーシア)

## 2. 輸送サービス詳細

利用しやすい料金で、“**スピード輸送＋保冷一貫輸送**”サービスを実現！  
高付加価値商材を高鮮度で全国へ、アジア圏へ輸送！

### 通常の宅急便サービスレベル

- 翌日午前中エリア
- 翌日午後エリア
- 翌々日エリア



### プラットフォームのサービス

- POINT!** 翌日午前中配達エリアを大幅に拡大し西日本への販路構築を支援
- POINT!** 鮮度、品質を維持したスピード小口輸送により継続取引を支援
- POINT!** アジア圏への最短翌日配送



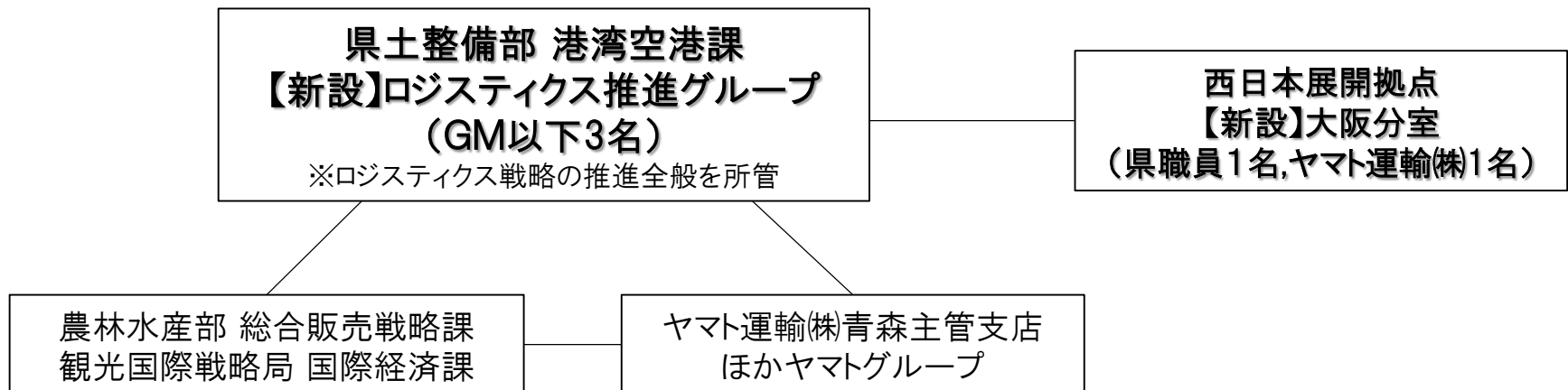
**89.8%に拡大！**

### 3. 平成28年度の取組概要

4月

A! Premiumの利用促進に向けた推進体制の強化

- 県庁港湾空港課内に「ロジスティクス推進グループ」を新設するとともに、大阪市に西日本展開拠点として、「ロジスティクス推進グループ大阪分室」を新設。
- 「A! Premium」のサプライヤー掘り起こし体制を強化するとともに、西日本や海外におけるマーケットニーズの掘り起こし体制を強化。
- 飲食店等による産地訪問・商談機会の創出や商談会・見本市出展機会の提供等を、これまで以上に積極的に展開する体制を整備。



### 3. 平成28年度の取組概要

#### 第1四半期(4月～6月)

- サプライヤーへの情報提供及び新規サプライヤーの掘り起こしを目的として、県内事業者へ西日本及び海外のマーケット情報を伝える「利活用セミナー」を開催(5月)
- 輸出に携わる県外商社や西日本飲食店等による、県内産地訪問・商談を実施(訪問先企業数 延べ20社)
- 関西の飲食店(2社、延べ6店舗)において、「青森フェア」開催(5月、6月)



「青森フェア」で提供された料理の一例



## 輸送サービス AOMORI プレミアム

# 利活用セミナー

日時 | 平成28年 **5/24(火)** 13:30～17:30

会場 | **アウガ(5階・AV多機能ホール)**  
青森県青森市4-27(美作町)青森アウガビル TEL:017-7766800

●申込締切/平成28年5月10日(火)17:00まで

●参加方法/裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお申込ください。

「AIPremium」は、青森県産農林水産品の流通拡大を物流面で支援することを目的とした輸送サービスであり、県とヤマト運輸株式会社との連携協定に基づき、平成27年4月からサービスを提供しています。本セミナーでは、「AIPremium」の一層の利活用と国内外への県産品の流通拡大に向け、近畿圏や海外のニーズ、輸送サービスを活用した実際の取組事例を紹介します。

**地方発・物流改革!**  
**日本全国、アジア圏へ最短翌日配達!**

**入場無料**  
**定員 100名**

開 会	13:30-
セミナー	13:35-13:55
13:55	結果発表
14:25	断ト断ト
14:25	田 知明
14:40	利活用事例及び
15:00	17:30

ヤマト運輸との相談会(希望者のみ)

お問い合わせ 青森県農土産物部港湾空港課 ロジスティクス推進グループ  
〒030-8570 青森県青森市一丁目1番1号 TEL:017-734-9676(直通)

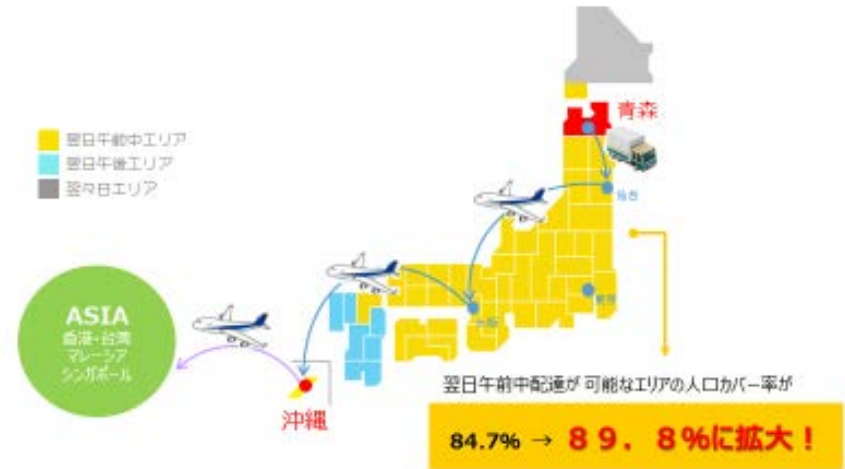
■土曜/祝日前夜営業プラットフォーム事務局

### 3. 平成28年度の取組概要

#### 第2四半期(7月～9月)

- 沖縄サービス開始(7月7日～)。  
これにより、従来サービス対象外であった沖縄県に、県産品を翌日午前中に配達することが可能に。
- 関西の飲食店(1社、5店舗)において、「青森フェア」開催(8月)
- アジア最大級の食品展示会である、「香港FOOD EXPO」に「A! Premium」のサプライヤー(4社)が出展(8月)
- 「A! Premium」を活用した県産品の販路開拓に向け、知事によるトップセールスを実施(香港、マレーシア)(9月)
- 西日本飲食店等による、県内産地訪問・商談を実施(訪問先企業数 延べ28社)したほか、大阪分室の仲介により、西日本において、県内事業者が個別商談(訪問先企業数 延べ12社)を実施。

<平成28年7月7日(木)、沖縄サービス開始!>



「香港FOOD EXPO」の商談の様様

### 3. 平成28年度の取組概要

#### 第3四半期(10月～12月)

- 沖縄県等の主催する商談会「沖縄国際物流ハブ活用「A! Premium」輸出商談会in青森」を青森市内で開催、「A! Premium」のサプライヤー(11社)が出席(11月)
- 株式会社JR東日本青森商業開発が運営する「A-F ACTORY」にて、台湾等からのインバウンド観光客を対象に、お土産便の販売を開始(11月～)
- 青森県、株式会社青森銀行、株式会社みちのく銀行及びヤマト運輸株式会社の四者で連携協定を締結し、「A! Premium」を活用した青森県産品に係る販売促進の取組(サプライヤー及びマーケットの掘り起こし、商談機会の創出等)を進めることを決定(12月)
- 香港やシンガポールにおいて「青森フェア」など、県産品のプロモーションを展開(5件)したほか、関西の飲食店(1社、5店舗)において、「青森フェア」開催(12月～1月)
- 海外や西日本の飲食店等による、県内産地訪問・商談を実施(訪問先企業数 延べ56社)したほか、大阪分室の仲介により、西日本において、県内事業者が個別商談(訪問先企業数 延べ2社)を実施。



連携協定締結

### 3. 平成28年度の取組概要

#### 第4四半期(1月～3月)

- 「A! Premium」を活用した県産品の販路開拓に向け、佐々木副知事によるトップセールスを実施(沖縄)(1月)
- 下北出発便(週2便)通年トライアルの運用を開始(2月2日～)。下北地域の事業者による「A! Premium」活用が進む。
- JTBグループが主催する商談会「Japanese Foods“ Premium” Trade Fair(香港)」に、「A! Premium」のサプライヤー(2社)が出展(2月)
- 国内最大規模の食品展示会である「スーパーマーケットトレードショー」(2月)及びアジア最大級の食品・飲料専門展示会である「FOODEX JAPAN」(3月)に、「A! Premium」のサプライヤーがそれぞれ出展(計7社出展)。
- 海外や西日本の飲食店等による、県内産地訪問・商談を実施(訪問先企業数 延べ69社)したほか、大阪分室の仲介により、西日本において、県内事業者が個別商談(訪問先企業数 延べ22社)を実施。
- 関西の飲食店(1社、5店舗)において、引き続き「青森フェア」を開催(12月～1月)したほか、香港において「青森フェア」など、県産品のプロモーションを展開(4件)。



下北地域の事業者と海外事業者との現地商談の様相





## 平成28年度利用実績

# 1. 利用契約者・利用実績

平成28年度実績 (H28. 4. 1-H29. 3. 31)

	年度	利用契約者数		利用実績(年間個数)		
		目標	実績	当初目標	修正後 目標値	実績
1年目	H27	75	88	1,000	—	3,532
2年目	H28	150	135	3,000	5,000	4,355 (5,403)※1
3年目	H29	—	—	7,000-8,000 ※2		—

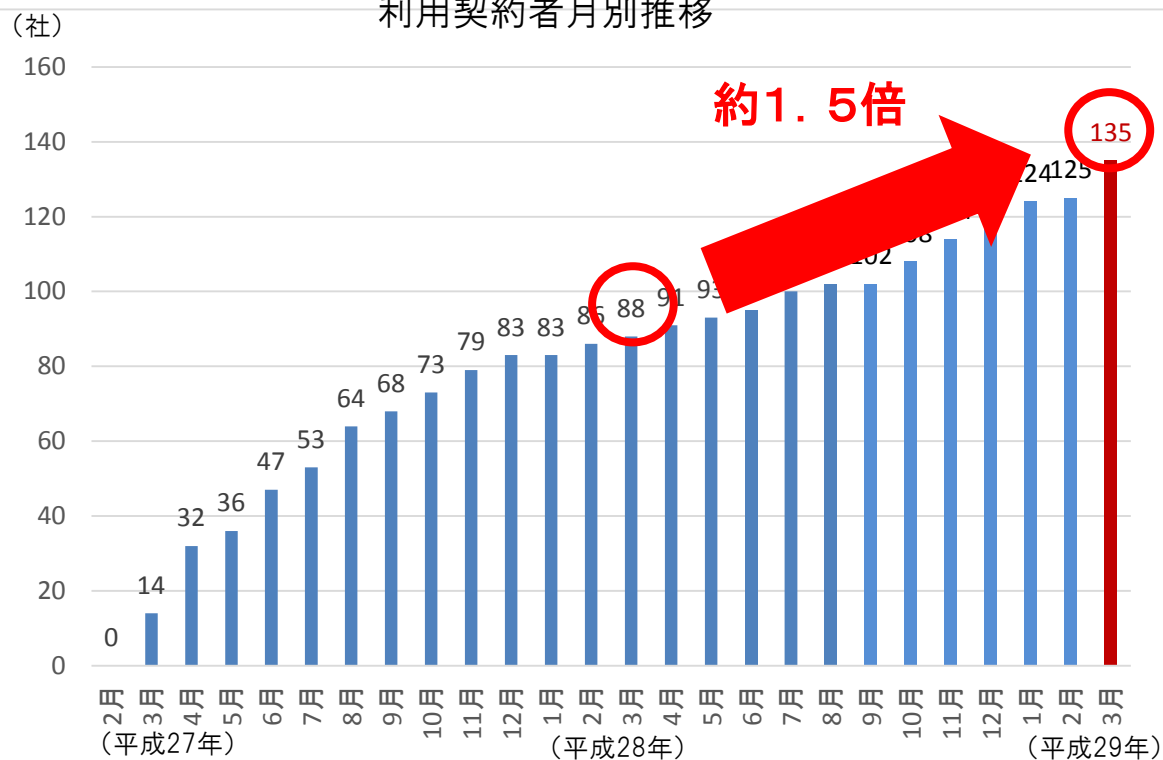
※1 ( ) 内の数字は、「A! Premium」を契機とする取引により、「A! Premium」以外の輸送手段で運ばれたことが確認できた荷物1,048個(県アンケート調査により把握(アンケート回収率30.1%))を含んだ数字。

※2 「A! Premium」を契機とする取引により、「A! Premium」以外の輸送手段で運ばれる荷物の個数を含む。

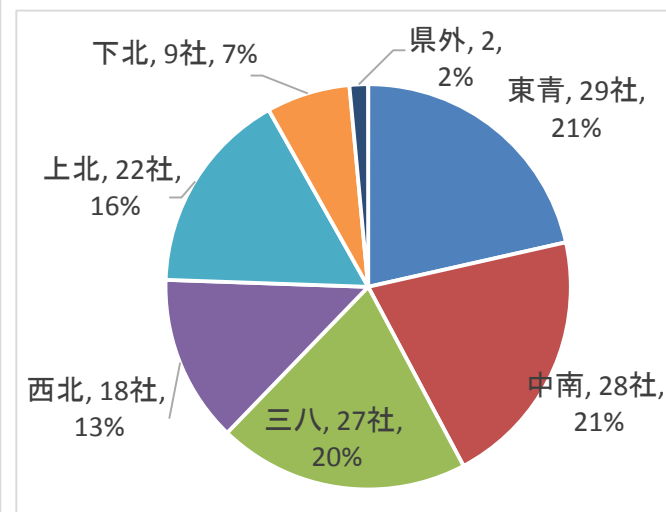
## 2. 利用契約者の推移

- 利用契約者は、昨年度末の88社から135社へ約1.5倍に増加
- 地域別内訳は、東青29社、中南28社、三八27社、その他51社

利用契約者月別推移



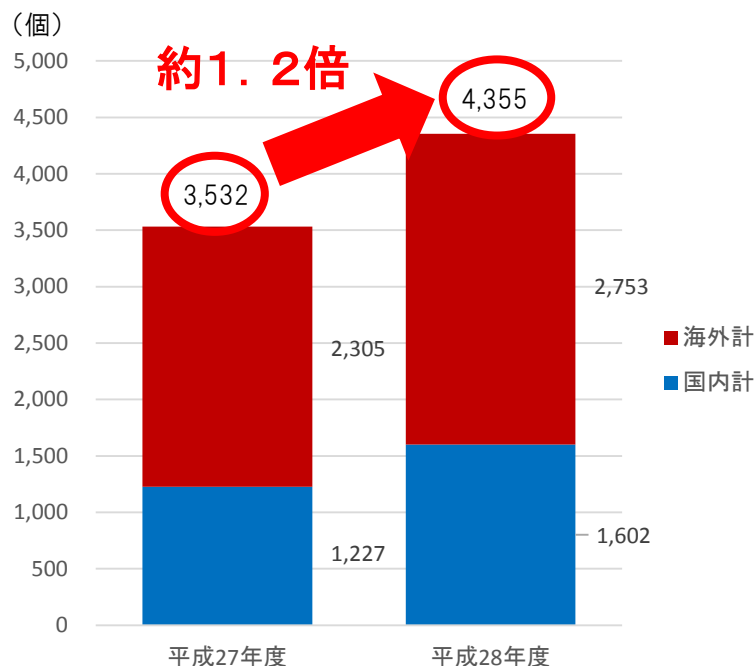
利用契約者地域別内訳



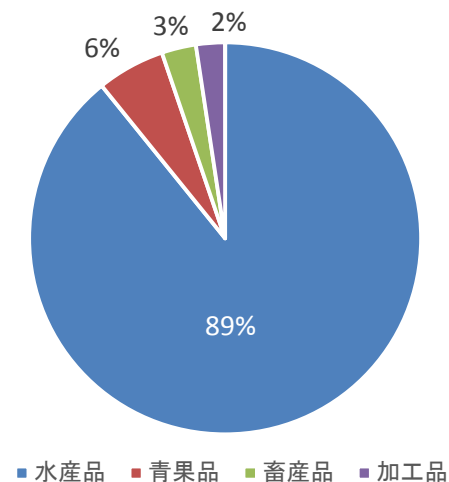
### 3. 利用実績の推移

- 利用実績は昨年度と比較して、約1.2倍に増加  
(国内で約1.3倍に増加、海外で約1.2倍に増加)
- 品目としては、水産品(鮮魚、貝類等の生鮮品)が約9割を占める
- なお、「A! Premium」以外の輸送手段で運ばれた主な品目は、水産品(約59%)のほか、青果品(ながいも等)(約38%)など

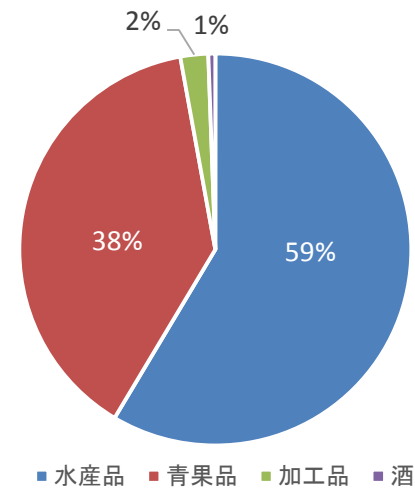
「A! Premium」利用実績



「A! Premium」品目別内訳



【参考】「A! Premium」以外の輸送手段(※)による品目別内訳

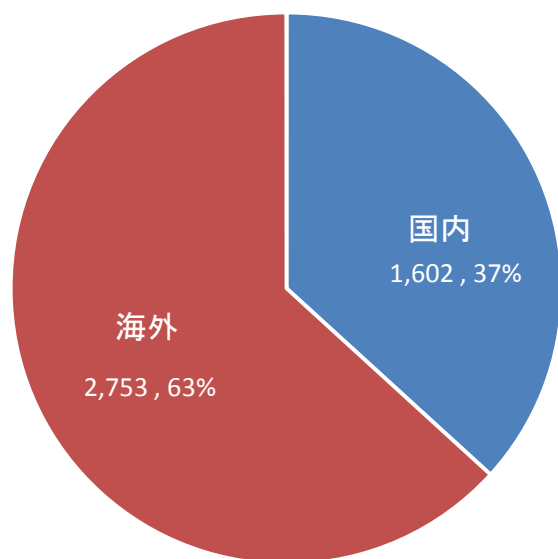


※アンケート(回収率30%)により把握できたものに限る

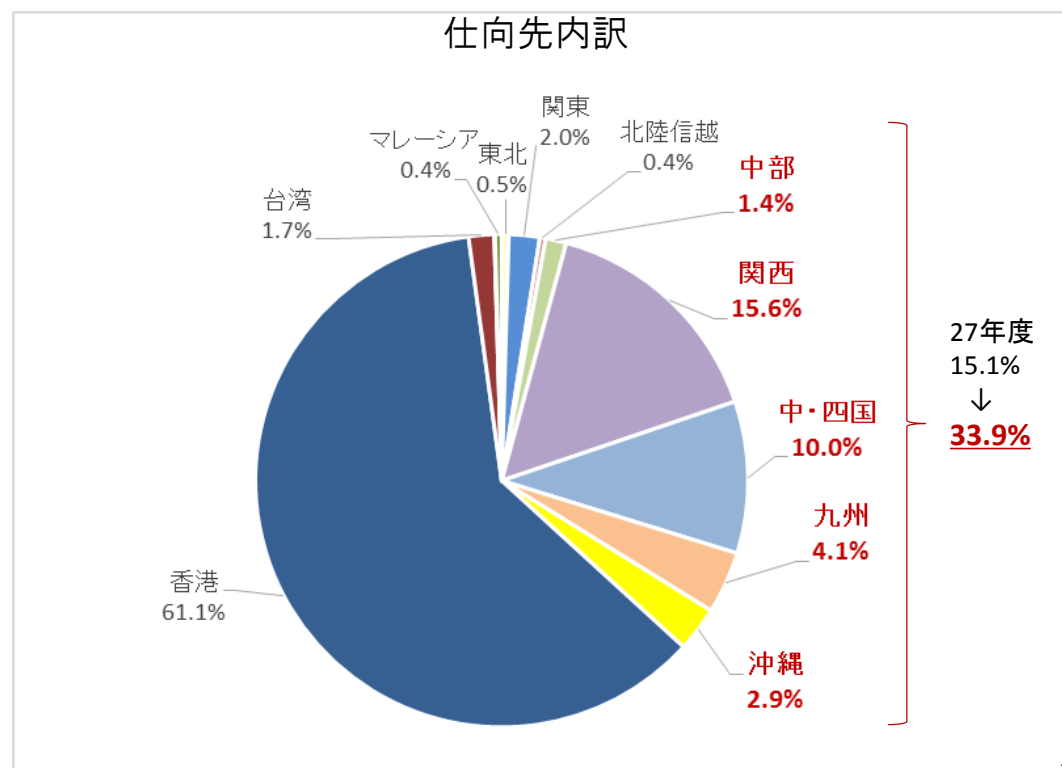
## 4. 利用実績の詳細

- 海外向け取引が好調（海外向け割合約63%、国内向け割合約37%）
- 最大の仕向け先は香港（全体の約61%）
- 国内においては、西日本における利用促進の取組の成果として、中部以西の割合が増加（昨年度約15%→今年度は全体の約34%）

国内・海外内訳



仕向け先内訳



## 5. 平成28年度の総括

項 目		現状・課題・改善策等
利用実績	海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 海外向け、特に香港における取引が好調               <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ヤマト運輸株・ANA Cargo・沖縄県等と連携し、海外商談機会（見本市等）を積極的に活用</li> <li>・香港以外の国・地域における取引拡大が課題</li> </ul> </li> </ul>
	国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 西日本における優位性を確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪に設置した西日本展開拠点を中心とするマーケットの掘り起こし・マッチングの促進が奏功、取引拡大</li> <li>・引き続き、西日本を中心に取組を強化</li> </ul> </li> </ul>
利用サプライヤー		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 未利用のサプライヤーが多数存在               <ul style="list-style-type: none"> <li>・商材提案時のサンプル出荷、商談会・見本市等の積極活用を働きかけ</li> <li>・物流費を気にかける事業者に対しては、物流費を加味しても青森県の高鮮度な商材を求める取引先があることを周知</li> </ul> </li> <li>□ 県内事業者に対する「A! Premium」の周知が必要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A! Premium」を契機に取引が始まった仕向け先からは、鮮魚だけでなく、農産物や畜産物、加工品など広く青森県産品を求める声がよせられている</li> <li>・「A! Premium」を「<b>販路開拓ツール</b>」（＝マーケットニーズに係る情報伝達・マッチング支援機能）として活用することができることについて、周知が必要</li> </ul> </li> </ul>
マーケットニーズ		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「A! Premium」商材以外への波及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A! Premium」での生鮮品提案をきっかけに、他商材（果樹、長いも、にんにく、畜産物、加工品等）へも波及。</li> </ul> </li> <li>□ 魚種のアソート（混載、詰め合わせ）、青果のアソートに対するニーズが多い               <ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライヤーへニーズフィードバック、小口アソートの検討</li> </ul> </li> </ul>

引き続き、関係機関が連携の上、「サプライヤーの掘り起こし」「マーケットニーズの掘り起こし」「マッチング」に取り組み、「A! Premium」の利用促進を進める。

### I. サプライヤー掘り起こし

- (1) 企業訪問の継続
- (2) 利用説明会開催
- (3) サプライヤー向け情報発信

### III. マッチング(商談機会創出)

#### 【国内】

- (1) 飲食店訪問によるマッチング
- (2) 産地訪問によるマッチング
- (3) 見本市出展によるマッチング

#### 【海外】

- (1) 産地訪問によるマッチング
- (2) 見本市出展によるマッチング
- (3) 輸出商談会(青森市)開催

### II. マーケットニーズ掘り起こし

#### 【国内】

- (1) 西日本展開拠点(大阪)の活用
- (2) 見本市への出展支援
- (3) ギフトトライアル

#### 【海外】

- (1) 見本市への出展支援
- (2) 海外でのレストランフェア開催
- (3) 海外お土産便トライアル